

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ⅠA						
担当教員	阿部 慎太郎						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎文法						
授業の概要	中国語は発音が難しいとよく言われる。発音を一から丁寧に学習すると同時に簡単なコミュニケーションも習得できるステップを踏まえたテキストで、無理なく中国語を身につけていくことを目指す。使用テキストはCDやDVDなどビジュアル教材が充実しており、五感をフル稼働させて語学習得ができる。これらを活用して予習復習が楽しくでき、自主学習もサポートされるので、安心して学習を進めることが可能。中国語の基礎固めの段階なので、真摯な態度で授業に臨んでもらいたい。						
到達目標	中国語の基礎文法力を確立する。						
授業計画	<p>第一回 中国（語）あれこれ イン트로</p> <p>第二回 第一課 指示代名詞、形容詞述語文、疑問文、“不”の変調</p> <p>第三回 第二課 正反疑問文、選択疑問文、“的”の省略、名詞句</p> <p>第四回 第三課 親族名称、“両”、“有”と“没有”、年齢の尋ね方、“一”の変調、数</p> <p>第五回 第四課 助動詞“想”、日付と曜日、動詞の重ね型、前置詞“給”、積極性を表す“来”</p> <p>第六回 第五課 月、時刻</p> <p>第七回 発音おさらい</p> <p>第八回 小テスト、これまでのまとめ</p> <p>第九回 第六課 お金の言い方、100以上の数、数量補語</p> <p>第十回 第七課 動詞“在”、助動詞“要”、前置詞“離”</p> <p>第十一回 第八課 前置詞“在”、助動詞“能”、二重目的語</p> <p>第十二回 第九課 助動詞“会”、連動文、“別”と“不要”</p> <p>第十三回 第十課 助動詞“可以”、比較の言い方</p> <p>第十四回 見直し、期末テスト</p> <p>第十五回 前期総まとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDで、授業前、授業後にレポート練習をする。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験50%、小テスト、授業態度と授業期間中の提出物等で50%を総合的に評価						
教科書	董燕／遠藤光暁 著 「ともだち・朋友スリム版1」朝日出版社						
参考書	はじめての中国語学習辞典 相原茂編著 朝日出版社						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IA						
担当教員	張 慧芬						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎文法						
授業の概要	中国語は発音が難しいとよく言われる。発音を一から丁寧に学習すると同時に簡単なコミュニケーションも習得できるステップを踏まえたテキストで、無理なく中国語を身につけていくことを目指す。使用テキストはCDやDVDなどビジュアル教材が充実しており、五感をフル稼働させて語学習得ができる。これらを活用して予習復習が楽しくでき、自主学習もサポートされるので、安心して学習を進めることが可能。中国語の基礎固めの段階なので、真摯な態度で授業に臨んでもらいたい。						
到達目標	中国語の基礎文法力を確立する。						
授業計画	<p>第一回 中国（語）あれこれ イン트로</p> <p>第二回 第一課 指示代名詞、形容詞述語文、疑問文、“不”の変調</p> <p>第三回 第二課 正反疑問文、選択疑問文、“的”の省略、名詞句</p> <p>第四回 第三課 親族名称、“両”、“有”と“没有”、年齢の尋ね方、“一”の変調、数</p> <p>第五回 第四課 助動詞“想”、日付と曜日、動詞の重ね型、前置詞“給”、積極性を表す“来”</p> <p>第六回 第五課 月、時刻</p> <p>第七回 発音おさらい</p> <p>第八回 小テスト、これまでのまとめ</p> <p>第九回 第六課 お金の言い方、100以上の数、数量補語</p> <p>第十回 第七課 動詞“在”、助動詞“要”、前置詞“離”</p> <p>第十一回 第八課 前置詞“在”、助動詞“能”、二重目的語</p> <p>第十二回 第九課 助動詞“会”、連動文、“別”と“不要”</p> <p>第十三回 第十課 助動詞“可以”、比較の言い方</p> <p>第十四回 見直し、期末テスト</p> <p>第十五回 前期総まとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDで、授業前、授業後にレポート練習をする。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験50%、小テスト、授業態度と授業期間中の提出物等で50%を総合的に評価						
教科書	董燕／遠藤光暁 著 「ともだち・朋友スリム版1」朝日出版社						
参考書	はじめての中国語学習辞典 相原茂編著 朝日出版社						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ⅠA						
担当教員	馮 誼光						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎文法						
授業の概要	中国語は発音が難しいとよく言われる。発音を一から丁寧に学習すると同時に簡単なコミュニケーションも習得できるステップを踏まえたテキストで、無理なく中国語を身につけていくことを目指す。使用テキストはCDやDVDなどビジュアル教材が充実しており、五感をフル稼働させて語学習得ができる。これらを活用して予習復習が楽しくでき、自主学習もサポートされるので、安心して学習を進めることが可能。中国語の基礎固めの段階なので、真摯な態度で授業に臨んでもらいたい。						
到達目標	中国語の基礎文法力を確立する。						
授業計画	<p>第一回 中国（語）あれこれ イン트로</p> <p>第二回 第一課 指示代名詞、形容詞述語文、疑問文、“不”の変調</p> <p>第三回 第二課 正反疑問文、選択疑問文、“的”の省略、名詞句</p> <p>第四回 第三課 親族名称、“両”、“有”と“没有”、年齢の尋ね方、“一”の変調、数</p> <p>第五回 第四課 助動詞“想”、日付と曜日、動詞の重ね型、前置詞“給”、積極性を表す“来”</p> <p>第六回 第五課 月、時刻</p> <p>第七回 発音おさらい</p> <p>第八回 小テスト、これまでのまとめ</p> <p>第九回 第六課 お金の言い方、100以上の数、数量補語</p> <p>第十回 第七課 動詞“在”、助動詞“要”、前置詞“離”</p> <p>第十一回 第八課 前置詞“在”、助動詞“能”、二重目的語</p> <p>第十二回 第九課 助動詞“会”、連動文、“別”と“不要”</p> <p>第十三回 第十課 助動詞“可以”、比較の言い方</p> <p>第十四回 見直し、期末テスト</p> <p>第十五回 前期総まとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDで、授業前、授業後にレポート練習をする。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験50%、小テスト、授業態度と授業期間中の提出物等で50%を総合的に評価						
教科書	董燕／遠藤光暁 著 「ともだち・朋友スリム版1」朝日出版社						
参考書	はじめての中国語学習辞典 相原茂編著 朝日出版社						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IA						
担当教員	馮 誼光						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎文法						
授業の概要	中国語は発音が難しいとよく言われる。発音を一から丁寧に学習すると同時に簡単なコミュニケーションも習得できるステップを踏まえたテキストで、無理なく中国語を身につけていくことを目指す。使用テキストはCDやDVDなどビジュアル教材が充実しており、五感をフル稼働させて語学習得ができる。これらを活用して予習復習が楽しくでき、自主学習もサポートされるので、安心して学習を進めることが可能。中国語の基礎固めの段階なので、真摯な態度で授業に臨んでもらいたい。						
到達目標	中国語の基礎文法力を確立する。						
授業計画	<p>第一回 中国（語）あれこれ イン트로</p> <p>第二回 第一課 指示代名詞、形容詞述語文、疑問文、“不”の変調</p> <p>第三回 第二課 正反疑問文、選択疑問文、“的”の省略、名詞句</p> <p>第四回 第三課 親族名称、“両”、“有”と“没有”、年齢の尋ね方、“一”の変調、数</p> <p>第五回 第四課 助動詞“想”、日付と曜日、動詞の重ね型、前置詞“給”、積極性を表す“来”</p> <p>第六回 第五課 月、時刻</p> <p>第七回 発音おさらい</p> <p>第八回 小テスト、これまでのまとめ</p> <p>第九回 第六課 お金の言い方、100以上の数、数量補語</p> <p>第十回 第七課 動詞“在”、助動詞“要”、前置詞“離”</p> <p>第十一回 第八課 前置詞“在”、助動詞“能”、二重目的語</p> <p>第十二回 第九課 助動詞“会”、連動文、“別”と“不要”</p> <p>第十三回 第十課 助動詞“可以”、比較の言い方</p> <p>第十四回 見直し、期末テスト</p> <p>第十五回 前期総まとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDで、授業前、授業後にレポート練習をする。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験50%、小テスト、授業態度と授業期間中の提出物等で50%を総合的に評価						
教科書	董燕／遠藤光暁 著 「ともだち・朋友スリム版1」朝日出版社						
参考書	はじめての中国語学習辞典 相原茂編著 朝日出版社						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IA						
担当教員	リン 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎文法						
授業の概要	中国語は発音が難しいとよく言われる。発音を一から丁寧に学習すると同時に簡単なコミュニケーションも習得できるステップを踏まえたテキストで、無理なく中国語を身につけていくことを目指す。使用テキストはCDやDVDなどビジュアル教材が充実しており、五感をフル稼働させて語学習得ができる。これらを活用して予習復習が楽しくでき、自主学習もサポートされるので、安心して学習を進めることが可能。中国語の基礎固めの段階なので、真摯な態度で授業に臨んでもらいたい。						
到達目標	中国語の基礎文法力を確立する。						
授業計画	<p>第一回 中国（語）あれこれ イン트로</p> <p>第二回 第一課 指示代名詞、形容詞述語文、疑問文、“不”の変調</p> <p>第三回 第二課 正反疑問文、選択疑問文、“的”の省略、名詞句</p> <p>第四回 第三課 親族名称、“両”、“有”と“没有”、年齢の尋ね方、“一”の変調、数</p> <p>第五回 第四課 助動詞“想”、日付と曜日、動詞の重ね型、前置詞“給”、積極性を表す“来”</p> <p>第六回 第五課 月、時刻</p> <p>第七回 発音おさらい</p> <p>第八回 小テスト、これまでのまとめ</p> <p>第九回 第六課 お金の言い方、100以上の数、数量補語</p> <p>第十回 第七課 動詞“在”、助動詞“要”、前置詞“離”</p> <p>第十一回 第八課 前置詞“在”、助動詞“能”、二重目的語</p> <p>第十二回 第九課 助動詞“会”、連動文、“別”と“不要”</p> <p>第十三回 第十課 助動詞“可以”、比較の言い方</p> <p>第十四回 見直し、期末テスト</p> <p>第十五回 前期総まとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDで、授業前、授業後にレポート練習をする。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験50%、小テスト、授業態度と授業期間中の提出物等で50%を総合的に評価						
教科書	董燕／遠藤光暁 著 「ともだち・朋友スリム版1」朝日出版社						
参考書	はじめての中国語学習辞典 相原茂編著 朝日出版社						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IB						
担当教員	阿部 慎太郎						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎文法						
授業の概要	中国語は発音が難しいとよく言われる。発音を一から丁寧に学習すると同時に簡単なコミュニケーションも習得できるステップを踏まえたテキストで、無理なく中国語を身につけていくことを目指す。使用テキストはCDやDVDなどビジュアル教材が充実しており、五感をフル稼働させて語学習得ができる。これらを活用して予習復習が楽しくでき、自主学習もサポートされるので、安心して学習を進めることが可能。中国語の基礎固めの段階なので、真摯な態度で授業に臨んでもらいたい。						
到達目標	中国語の基礎文法力を確立する。						
授業計画	<p>第一回 前期復習</p> <p>第二回 第十一課 “了”について</p> <p>第三回 第十二課 変化を表す“了”、過去の経験、少しも～でない</p> <p>第四回 第十三課 ～している、過去のことも“了”がつかないとき</p> <p>第五回 第十四課 結果補語、程度補語、“別～了”</p> <p>第六回 第十五課 動詞+“着”、存現文、又～又～</p> <p>第七回 小テスト・復習</p> <p>第八回 第十六課 一致と類似、“是～的”、会～的、原来～</p> <p>第九回 第十七課 方向動詞、方向補語、“把”、～すべきだ</p> <p>第十回 第十八課 可能補語、～だけれども</p> <p>第十一回 第十九課 様態補語</p> <p>第十二回 第二十課 受け身、“再”と“又”</p> <p>第十三回 第二十一課 使役、同一の疑問詞の呼応、疑問詞+“都”</p> <p>第十四回 見直し、期末テスト</p> <p>第十五回 後期総まとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDで、授業前、授業後にレポート練習をする。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	董燕／遠藤光暁 著 「ともだち・朋友スリム2」朝日出版社						
参考書	はじめての中国語学習辞典 相原茂編著 朝日出版社						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IB						
担当教員	張 慧芬						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎文法						
授業の概要	中国語は発音が難しいとよく言われる。発音を一から丁寧に学習すると同時に簡単なコミュニケーションも習得できるステップを踏まえたテキストで、無理なく中国語を身につけていくことを目指す。使用テキストはCDやDVDなどビジュアル教材が充実しており、五感をフル稼働させて語学習得ができる。これらを活用して予習復習が楽しくでき、自主学習もサポートされるので、安心して学習を進めることが可能。中国語の基礎固めの段階なので、真摯な態度で授業に臨んでもらいたい。						
到達目標	中国語の基礎文法力を確立する。						
授業計画	第一回 前期復習 第二回 第十一課 “了”について 第三回 第十二課 変化を表す“了”、過去の経験、少しも～でない 第四回 第十三課 ～している、過去のことも“了”がつかないとき 第五回 第十四課 結果補語、程度補語、“別～了” 第六回 第十五課 動詞+“着”、存現文、又～又～ 第七回 小テスト・復習 第八回 第十六課 一致と類似、“是～的”、会～的、原来～ 第九回 第十七課 方向動詞、方向補語、“把”、～すべきだ 第十回 第十八課 可能補語、～だけれども 第十一回 第十九課 様態補語 第十二回 第二十課 受け身、“再”と“又” 第十三回 第二十一課 使役、同一の疑問詞の呼応、疑問詞+“都” 第十四回 見直し、期末テスト 第十五回 後期総まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDで、授業前、授業後にレポート練習をする。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	董燕／遠藤光暁 著 「ともだち・朋友スリム2」朝日出版社						
参考書	はじめての中国語学習辞典 相原茂編著 朝日出版社						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IB						
担当教員	馮 誼光						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎文法						
授業の概要	中国語は発音が難しいとよく言われる。発音を一から丁寧に学習すると同時に簡単なコミュニケーションも習得できるステップを踏まえたテキストで、無理なく中国語を身につけていくことを目指す。使用テキストはCDやDVDなどビジュアル教材が充実しており、五感をフル稼働させて語学習得ができる。これらを活用して予習復習が楽しくでき、自主学習もサポートされるので、安心して学習を進めることが可能。中国語の基礎固めの段階なので、真摯な態度で授業に臨んでもらいたい。						
到達目標	中国語の基礎文法力を確立する。						
授業計画	<p>第一回 前期復習</p> <p>第二回 第十一課 “了” について</p> <p>第三回 第十二課 変化を表す“了”、過去の経験、少しも～でない</p> <p>第四回 第十三課 ～している、過去のことも“了”がつかないとき</p> <p>第五回 第十四課 結果補語、程度補語、“別～了”</p> <p>第六回 第十五課 動詞+“着”、存現文、又～又～</p> <p>第七回 小テスト・復習</p> <p>第八回 第十六課 一致と類似、“是～的”、会～的、原来～</p> <p>第九回 第十七課 方向動詞、方向補語、“把”、～すべきだ</p> <p>第十回 第十八課 可能補語、～だけれども</p> <p>第十一回 第十九課 様態補語</p> <p>第十二回 第二十課 受け身、“再”と“又”</p> <p>第十三回 第二十一課 使役、同一の疑問詞の呼応、疑問詞+“都”</p> <p>第十四回 見直し、期末テスト</p> <p>第十五回 後期総まとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDで、授業前、授業後にレポート練習をする。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	董燕／遠藤光暁 著 「ともだち・朋友スリム2」朝日出版社						
参考書	はじめての中国語学習辞典 相原茂編著 朝日出版社						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IB						
担当教員	馮 誼光						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎文法						
授業の概要	中国語は発音が難しいとよく言われる。発音を一から丁寧に学習すると同時に簡単なコミュニケーションも習得できるステップを踏まえたテキストで、無理なく中国語を身につけていくことを目指す。使用テキストはCDやDVDなどビジュアル教材が充実しており、五感をフル稼働させて語学習得ができる。これらを活用して予習復習が楽しくでき、自主学習もサポートされるので、安心して学習を進めることが可能。中国語の基礎固めの段階なので、真摯な態度で授業に臨んでもらいたい。						
到達目標	中国語の基礎文法力を確立する。						
授業計画	第一回 前期復習 第二回 第十一課 “了”について 第三回 第十二課 変化を表す“了”、過去の経験、少しも～でない 第四回 第十三課 ～している、過去のことも“了”がつかないとき 第五回 第十四課 結果補語、程度補語、“別～了” 第六回 第十五課 動詞+“着”、存現文、又～又～ 第七回 小テスト・復習 第八回 第十六課 一致と類似、“是～的”、会～的、原来～ 第九回 第十七課 方向動詞、方向補語、“把”、～すべきだ 第十回 第十八課 可能補語、～だけれども 第十一回 第十九課 様態補語 第十二回 第二十課 受け身、“再”と“又” 第十三回 第二十一課 使役、同一の疑問詞の呼応、疑問詞+“都” 第十四回 見直し、期末テスト 第十五回 後期総まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDで、授業前、授業後にレポート練習をする。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	董燕／遠藤光暁 著 「ともだち・朋友スリム2」朝日出版社						
参考書	はじめての中国語学習辞典 相原茂編著 朝日出版社						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IB						
担当教員	リン 洋子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎文法						
授業の概要	中国語は発音が難しいとよく言われる。発音を一から丁寧に学習すると同時に簡単なコミュニケーションも習得できるステップを踏まえたテキストで、無理なく中国語を身につけていくことを目指す。使用テキストはCDやDVDなどビジュアル教材が充実しており、五感をフル稼働させて語学習得ができる。これらを活用して予習復習が楽しくでき、自主学習もサポートされるので、安心して学習を進めることが可能。中国語の基礎固めの段階なので、真摯な態度で授業に臨んでもらいたい。						
到達目標	中国語の基礎文法力を確立する。						
授業計画	第一回 前期復習 第二回 第十一課 “了”について 第三回 第十二課 変化を表す“了”、過去の経験、少しも～でない 第四回 第十三課 ～している、過去のことも“了”がつかないとき 第五回 第十四課 結果補語、程度補語、“別～了” 第六回 第十五課 動詞+“着”、存現文、又～又～ 第七回 小テスト・復習 第八回 第十六課 一致と類似、“是～的”、会～的、原来～ 第九回 第十七課 方向動詞、方向補語、“把”、～すべきだ 第十回 第十八課 可能補語、～だけれども 第十一回 第十九課 様態補語 第十二回 第二十課 受け身、“再”と“又” 第十三回 第二十一課 使役、同一の疑問詞の呼応、疑問詞+“都” 第十四回 見直し、期末テスト 第十五回 後期総まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDで、授業前、授業後にレポート練習をする。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	董燕／遠藤光暁 著 「ともだち・朋友スリム2」朝日出版社						
参考書	はじめての中国語学習辞典 相原茂編著 朝日出版社						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IC						
担当教員	張 慧芬						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	会話力を身につけ、コミュニケーションを可能とするテキストを使用し、初級段階の基礎固めを目指す。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんでもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 発音①声調、母音</p> <p>第三回 第二課 発音②子音、人称名詞、文の構造、声調変化①</p> <p>第四回 第三課 発音③鼻母音、時間名詞、声調変化②、教室用語</p> <p>第五回 第四課 名前の尋ね方と答え方、存在表現、量詞、疑問詞疑問文</p> <p>第六回 第五課 日付・曜日の尋ね方と答え方、年齢の聞き方</p> <p>第七回 第六課 指示詞、名詞化する“的”、反復疑問文</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 時間の尋ね方・答え方、願望・意思を表す助動詞、文末の語気助詞</p> <p>第十回 第八課 方法・手段を問う疑問文、意思を表す助動詞“要”、形容詞述語文</p> <p>第十一回 第九課 好き嫌いの言い方、疑問表現</p> <p>第十二回 第十課 値段の聞き方、値切り方、“太～了”、“行不行？”</p> <p>第十三回 第十一課 “也”と“都”、“～できる”、“左右”</p> <p>第十四回 第十二課 時間の表し方、“まもなく～だ”、“…する以外に、さらに”、二つの“了”</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合評価						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 基礎編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IC						
担当教員	張 麗娜						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	会話力を身につけ、コミュニケーションを可能とするテキストを使用し、初級段階の基礎固めを目指す。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんでもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 発音①声調、母音</p> <p>第三回 第二課 発音②子音、人称名詞、文の構造、声調変化①</p> <p>第四回 第三課 発音③鼻母音、時間名詞、声調変化②、教室用語</p> <p>第五回 第四課 名前の尋ね方と答え方、存在表現、量詞、疑問詞疑問文</p> <p>第六回 第五課 日付・曜日の尋ね方と答え方、年齢の聞き方</p> <p>第七回 第六課 指示詞、名詞化する“的”、反復疑問文</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 時間の尋ね方・答え方、願望・意思を表す助動詞、文末の語気助詞</p> <p>第十回 第八課 方法・手段を問う疑問文、意思を表す助動詞“要”、形容詞述語文</p> <p>第十一回 第九課 好き嫌いの言い方、疑問表現</p> <p>第十二回 第十課 値段の聞き方、値切り方、“太～了”、“行不行？”</p> <p>第十三回 第十一課 “也”と“都”、“～できる”、“左右”</p> <p>第十四回 第十二課 時間の表し方、“まもなく～だ”、“…する以外に、さらに”、二つの“了”</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合評価						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 基礎編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IC						
担当教員	古川 典代						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	会話力を身につけ、コミュニケーションを可能とするテキストを使用し、初級段階の基礎固めを目指す。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんでもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 発音①声調、母音</p> <p>第三回 第二課 発音②子音、人称名詞、文の構造、声調変化①</p> <p>第四回 第三課 発音③鼻母音、時間名詞、声調変化②、教室用語</p> <p>第五回 第四課 名前の尋ね方と答え方、存在表現、量詞、疑問詞疑問文</p> <p>第六回 第五課 日付・曜日の尋ね方と答え方、年齢の聞き方</p> <p>第七回 第六課 指示詞、名詞化する“的”、反復疑問文</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 時間の尋ね方・答え方、願望・意思を表す助動詞、文末の語気助詞</p> <p>第十回 第八課 方法・手段を問う疑問文、意思を表す助動詞“要”、形容詞述語文</p> <p>第十一回 第九課 好き嫌いの言い方、疑問表現</p> <p>第十二回 第十課 値段の聞き方、値切り方、“太～了”、“行不行？”</p> <p>第十三回 第十一課 “也”と“都”、“～できる”、“左右”</p> <p>第十四回 第十二課 時間の表し方、“まもなく～だ”、“…する以外に、さらに”、二つの“了”</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合評価						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 基礎編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IC						
担当教員	古川 典代						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	会話力を身につけ、コミュニケーションを可能とするテキストを使用し、初級段階の基礎固めを目指す。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんでもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 発音①声調、母音</p> <p>第三回 第二課 発音②子音、人称名詞、文の構造、声調変化①</p> <p>第四回 第三課 発音③鼻母音、時間名詞、声調変化②、教室用語</p> <p>第五回 第四課 名前の尋ね方と答え方、存在表現、量詞、疑問詞疑問文</p> <p>第六回 第五課 日付・曜日の尋ね方と答え方、年齢の聞き方</p> <p>第七回 第六課 指示詞、名詞化する“的”、反復疑問文</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 時間の尋ね方・答え方、願望・意思を表す助動詞、文末の語気助詞</p> <p>第十回 第八課 方法・手段を問う疑問文、意思を表す助動詞“要”、形容詞述語文</p> <p>第十一回 第九課 好き嫌いの言い方、疑問表現</p> <p>第十二回 第十課 値段の聞き方、値切り方、“太～了”、“行不行？”</p> <p>第十三回 第十一課 “也”と“都”、“～できる”、“左右”</p> <p>第十四回 第十二課 時間の表し方、“まもなく～だ”、“…する以外に、さらに”、二つの“了”</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合評価						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 基礎編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IC						
担当教員	古川 典代						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	会話力を身につけ、コミュニケーションを可能とするテキストを使用し、初級段階の基礎固めを目指す。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんでもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 発音①声調、母音</p> <p>第三回 第二課 発音②子音、人称名詞、文の構造、声調変化①</p> <p>第四回 第三課 発音③鼻母音、時間名詞、声調変化②、教室用語</p> <p>第五回 第四課 名前の尋ね方と答え方、存在表現、量詞、疑問詞疑問文</p> <p>第六回 第五課 日付・曜日の尋ね方と答え方、年齢の聞き方</p> <p>第七回 第六課 指示詞、名詞化する“的”、反復疑問文</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 時間の尋ね方・答え方、願望・意思を表す助動詞、文末の語気助詞</p> <p>第十回 第八課 方法・手段を問う疑問文、意思を表す助動詞“要”、形容詞述語文</p> <p>第十一回 第九課 好き嫌いの言い方、疑問表現</p> <p>第十二回 第十課 値段の聞き方、値切り方、“太～了”、“行不行？”</p> <p>第十三回 第十一課 “也”と“都”、“～できる”、“左右”</p> <p>第十四回 第十二課 時間の表し方、“まもなく～だ”、“…する以外に、さらに”、二つの“了”</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合評価						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 基礎編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ID						
担当教員	張 慧芬						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	「基礎編」に引き続き、「応用編」でより豊かな会話力を身につけ、コミュニケーションを磨く。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていることを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんで、コミュニケーションな中国語を身につけてもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 第一課 “是～的”の構文、反復疑問文</p> <p>第三回 第二課 前置詞“離”、形容詞の反復疑問文、時間の量の聞き方</p> <p>第四回 第三課 時間のポイントの聞き方、助動詞の反復疑問文、動詞の反復疑問文</p> <p>第五回 第四課 許可を求める助動詞“可以”、連動文、推量・勧誘・軽い命令の語気助詞</p> <p>第六回 第五課 少し、できる三兄弟“会・能・可以”、前置詞“給”</p> <p>第七回 第六課 結果補語、全否定「少しも～でない」</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 積極的な動作を表す“来”、比較の仕方“A比B”と“A没有B”、可能補語</p> <p>第十回 第八課 助動詞「～すべき」、 “不要”と“不用”、様子を問う疑問文</p> <p>第十一回 第九課 “没”（過去の否定と“有”の否定）、目的語を前掲する処置式、方向補語</p> <p>第十二回 第十課 使役文、兼語文、AとBは同じ</p> <p>第十三回 第十一課 様態補語、“越来越”、“越A越B”、受動文、動量詞</p> <p>第十四回 第十二課 状態の継続、～しながら…する、中国語歌唱『ふるさと』</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 応用編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ID						
担当教員	張 麗娜						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	「基礎編」に引き続き、「応用編」でより豊かな会話力を身につけ、コミュニケーションを磨く。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんで、コミュニケーションな中国語を身につけてもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 第一課 “是～的”の構文、反復疑問文</p> <p>第三回 第二課 前置詞“離”、形容詞の反復疑問文、時間の量の聞き方</p> <p>第四回 第三課 時間のポイントの聞き方、助動詞の反復疑問文、動詞の反復疑問文</p> <p>第五回 第四課 許可を求める助動詞“可以”、連動文、推量・勧誘・軽い命令の語気助詞</p> <p>第六回 第五課 少し、できる三兄弟“会・能・可以”、前置詞“給”</p> <p>第七回 第六課 結果補語、全否定「少しも～でない」</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 積極的な動作を表す“来”、比較の仕方“A比B”と“A没有B”、可能補語</p> <p>第十回 第八課 助動詞「～すべき」、 “不要”と“不用”、様子を問う疑問文</p> <p>第十一回 第九課 “没”（過去の否定と“有”の否定）、目的語を前掲する処置式、方向補語</p> <p>第十二回 第十課 使役文、兼語文、AとBは同じ</p> <p>第十三回 第十一課 様態補語、“越来越”、“越A越B”、受動文、動量詞</p> <p>第十四回 第十二課 状態の継続、～しながら…する、中国語歌唱『ふるさと』</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 応用編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ID						
担当教員	古川 典代						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	「基礎編」に引き続き、「応用編」でより豊かな会話力を身につけ、コミュニケーションを磨く。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんで、コミュニケーションな中国語を身につけてもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 第一課 “是～的”の構文、反復疑問文</p> <p>第三回 第二課 前置詞“離”、形容詞の反復疑問文、時間の量の聞き方</p> <p>第四回 第三課 時間のポイントの聞き方、助動詞の反復疑問文、動詞の反復疑問文</p> <p>第五回 第四課 許可を求める助動詞“可以”、連動文、推量・勧誘・軽い命令の語気助詞</p> <p>第六回 第五課 少し、できる三兄弟“会・能・可以”、前置詞“給”</p> <p>第七回 第六課 結果補語、全否定「少しも～でない」</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 積極的な動作を表す“来”、比較の仕方“A比B”と“A没有B”、可能補語</p> <p>第十回 第八課 助動詞「～すべき」、 “不要”と“不用”、様子を問う疑問文</p> <p>第十一回 第九課 “没”（過去の否定と“有”の否定）、目的語を前掲する処置式、方向補語</p> <p>第十二回 第十課 使役文、兼語文、AとBは同じ</p> <p>第十三回 第十一課 様態補語、“越来越”、“越A越B”、受動文、動量詞</p> <p>第十四回 第十二課 状態の継続、～しながら…する、中国語歌唱『ふるさと』</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 応用編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目 (中国語)						
科目名	中国語ID						
担当教員	古川 典代						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門/基礎会話						
授業の概要	「基礎編」に引き続き、「応用編」でより豊かな会話力を身につけ、コミュニケーションを磨く。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんで、コミュニケーションな中国語を身につけてもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 第一課 “是～的”の構文、反復疑問文</p> <p>第三回 第二課 前置詞“離”、形容詞の反復疑問文、時間の量の聞き方</p> <p>第四回 第三課 時間のポイントの聞き方、助動詞の反復疑問文、動詞の反復疑問文</p> <p>第五回 第四課 許可を求める助動詞“可以”、連動文、推量・勧誘・軽い命令の語気助詞</p> <p>第六回 第五課 少し、できる三兄弟“会・能・可以”、前置詞“給”</p> <p>第七回 第六課 結果補語、全否定「少しも～でない」</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 積極的な動作を表す“来”、比較の仕方“A比B”と“A没有B”、可能補語</p> <p>第十回 第八課 助動詞「～すべき」、 “不要”と“不用”、様子を問う疑問文</p> <p>第十一回 第九課 “没”(過去の否定と“有”の否定)、目的語を前掲する処置式、方向補語</p> <p>第十二回 第十課 使役文、兼語文、AとBは同じ</p> <p>第十三回 第十一課 様態補語、“越来越”、“越A越B”、受動文、動量詞</p> <p>第十四回 第十二課 状態の継続、～しながら…する、中国語歌唱『ふるさと』</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 応用編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ID						
担当教員	古川 典代						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	「基礎編」に引き続き、「応用編」でより豊かな会話力を身につけ、コミュニケーションを磨く。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていることを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんで、コミュニケーションな中国語を身につけてもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 “是～的”の構文、反復疑問文</p> <p>第三回 第二課 前置詞“離”、形容詞の反復疑問文、時間の量の聞き方</p> <p>第四回 第三課 時間のポイントの聞き方、助動詞の反復疑問文、動詞の反復疑問文</p> <p>第五回 第四課 許可を求める助動詞“可以”、連動文、推量・勧誘・軽い命令の語気助詞</p> <p>第六回 第五課 少し、できる三兄弟“会・能・可以”、前置詞“給”</p> <p>第七回 第六課 結果補語、全否定「少しも～でない」</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 積極的な動作を表す“来”、比較の仕方“A比B”と“A没有B”、可能補語</p> <p>第十回 第八課 助動詞「～すべき」、 “不要”と“不用”、様子を問う疑問文</p> <p>第十一回 第九課 “没”（過去の否定と“有”の否定）、目的語を前掲する処置式、方向補語</p> <p>第十二回 第十課 使役文、兼語文、AとBは同じ</p> <p>第十三回 第十一課 様態補語、“越来越”、“越A越B”、受動文、動量詞</p> <p>第十四回 第十二課 状態の継続、～しながら…する、中国語歌唱『ふるさと』</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 応用編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIA						
担当教員	張 慧芬						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級文法						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	基礎段階で未習の文法事項を学習し、中級の文法力を確立する。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 中国（語）あれこれ イン트로</p> <p>第二回 第一課 中国アラカルト（中国と中国語、中華料理と中国語、漢字の種類）</p> <p>第三回 第二課 発音のおさらい（声調、音節構造、母音、子音、有気音・無気音、そり舌音、鼻音）</p> <p>第四回 基礎のおさらい</p> <p>第五回 第三課 こんにちは！（声調変化、挨拶の仕方、名前の尋ね方・答え方、へんとつくり）</p> <p>第六回 第四課 何をお飲みになりますか？（動詞述語文、形容詞述語文、疑問詞、中国茶の種類）</p> <p>第七回 第五課 これは何ですか？（指示代詞、連体修飾の“的”、調理器具、疑問文あれこれ）</p> <p>第八回 小テスト、中国語の歌紹介</p> <p>第九回 第六課 いくらですか？（値段の聞き方・値切り方、数の聞き方、量詞、文末の語気助詞）</p> <p>第十回 第七課 トマトはどこにありますか？（存在・所有、場所の示し方、並列・列挙、処置式）</p> <p>第十一回 第八課 何人家族ですか？（親族呼称、歳の尋ね方、比較の仕方、二つの“了”、できる）</p> <p>第十二回 第九課 誕生日は何月何日ですか？（日にちの聞き方、時間・曜日の表し方、選択疑問文）</p> <p>第十三回 自己紹介 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・前期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合して判断する						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIA						
担当教員	張 慧芬						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級文法						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	基礎段階で未習の文法事項を学習し、中級の文法力を確立する。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 中国（語）あれこれ イン트로</p> <p>第二回 第一課 中国アラカルト（中国と中国語、中華料理と中国語、漢字の種類）</p> <p>第三回 第二課 発音のおさらい（声調、音節構造、母音、子音、有気音・無気音、そり舌音、鼻音）</p> <p>第四回 基礎のおさらい</p> <p>第五回 第三課 こんにちは！（声調変化、挨拶の仕方、名前の尋ね方・答え方、へんとつくり）</p> <p>第六回 第四課 何をお飲みになりますか？（動詞述語文、形容詞述語文、疑問詞、中国茶の種類）</p> <p>第七回 第五課 これは何ですか？（指示代詞、連体修飾の“的”、調理器具、疑問文あれこれ）</p> <p>第八回 小テスト、中国語の歌紹介</p> <p>第九回 第六課 いくらですか？（値段の聞き方・値切り方、数の聞き方、量詞、文末の語気助詞）</p> <p>第十回 第七課 トマトはどこにありますか？（存在・所有、場所の示し方、並列・列挙、処置式）</p> <p>第十一回 第八課 何人家族ですか？（親族呼称、歳の尋ね方、比較の仕方、二つの“了”、できる）</p> <p>第十二回 第九課 誕生日は何月何日ですか？（日にちの聞き方、時間・曜日の表し方、選択疑問文）</p> <p>第十三回 自己紹介 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・前期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合して判断する						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目 (中国語)						
科目名	中国語IIA						
担当教員	リン 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級文法						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	基礎段階で未習の文法事項を学習し、中級の文法力を確立する。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 中国(語)あれこれ イントロ</p> <p>第二回 第一課 中国アラカルト(中国と中国語、中華料理と中国語、漢字の種類)</p> <p>第三回 第二課 発音のおさらい(声調、音節構造、母音、子音、有気音・無気音、そり舌音、鼻音)</p> <p>第四回 基礎のおさらい</p> <p>第五回 第三課 こんにちは!(声調変化、挨拶の仕方、名前の尋ね方・答え方、へんとつくり)</p> <p>第六回 第四課 何を飲みになりますか?(動詞述語文、形容詞述語文、疑問詞、中国茶の種類)</p> <p>第七回 第五課 これは何ですか?(指示代詞、連体修飾の“的”、調理器具、疑問文あれこれ)</p> <p>第八回 小テスト、中国語の歌紹介</p> <p>第九回 第六課 いくらですか?(値段の聞き方・値切り方、数の聞き方、量詞、文末の語気助詞)</p> <p>第十回 第七課 トマトはどこにありますか?(存在・所有、場所の示し方、並列・列挙、処置式)</p> <p>第十一回 第八課 何人家族ですか?(親族呼称、歳の尋ね方、比較の仕方、二つの“了”、できる)</p> <p>第十二回 第九課 誕生日は何月何日ですか?(日にちの聞き方、時間・曜日の表し方、選択疑問文)</p> <p>第十三回 自己紹介 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・前期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合して判断する						
教科書	古川典代/福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』 (朝日出版社)						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIB						
担当教員	張 慧芬						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級文法						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	基礎段階で未習の文法事項を学習し、中級の文法力を確立する。						
授業計画	<p>第一回 前期おさらい</p> <p>第二回 第十課 今、何をしているの？（動作・状態の進行継続、動詞の重ね型、使役、食材）</p> <p>第三回 第十一課 ゆであがった、熱いうちにどうぞ！（結果補語、積極性を表す“来”、前置詞“給”、味の評価の仕方、火加減と油の温度）</p> <p>第四回 第十二課 すみません、ロイヤルホテルにはどういったらいいですか？（方法・手段を尋ねる、時間の量を尋ねる、～しながら…する、新年のメニュー）</p> <p>第五回 中国語でロールプレイ</p> <p>第六回 第十三課 電話で宴会を予約する（“一”の読み方、電話のしかた、予約の取り消し方、仮定）</p> <p>第七回 第十四課 四川飯店にて（方向補語、複合方向補語、セットメニューの例）</p> <p>第八回 第十五課 お料理がきましたよ（動作の順番、マルチな動詞、何・どのように、行事と食習慣）</p> <p>第九回 小テスト、おさらい</p> <p>第十回 中国の歌、映画、ドラマの紹介</p> <p>第十一回 第十六課 麻婆豆腐（レシピの中国語）</p> <p>第十二回 第十七課 水餃子（レシピの中国語）</p> <p>第十三回 総まとめ、質疑応答</p> <p>第十四回 見直し、後期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIB						
担当教員	張 慧芬						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級文法						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	基礎段階で未習の文法事項を学習し、中級の文法力を確立する。						
授業計画	<p>第一回 前期おさらい</p> <p>第二回 第十課 今、何をしているの？（動作・状態の進行継続、動詞の重ね型、使役、食材）</p> <p>第三回 第十一課 ゆであがった、熱いうちにどうぞ！（結果補語、積極性を表す“来”、前置詞“給”、味の評価の仕方、火加減と油の温度）</p> <p>第四回 第十二課 すみません、ロイヤルホテルにはどういったらいいですか？（方法・手段を尋ねる、時間の量を尋ねる、～しながら…する、新年のメニュー）</p> <p>第五回 中国語でロールプレイ</p> <p>第六回 第十三課 電話で宴会を予約する（“一”の読み方、電話のしかた、予約の取り消し方、仮定）</p> <p>第七回 第十四課 四川飯店にて（方向補語、複合方向補語、セットメニューの例）</p> <p>第八回 第十五課 お料理がきましたよ（動作の順番、マルチな動詞、何・どのように、行事と食習慣）</p> <p>第九回 小テスト、おさらい</p> <p>第十回 中国の歌、映画、ドラマの紹介</p> <p>第十一回 第十六課 麻婆豆腐（レシピの中国語）</p> <p>第十二回 第十七課 水餃子（レシピの中国語）</p> <p>第十三回 総まとめ、質疑応答</p> <p>第十四回 見直し、後期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIB						
担当教員	リン 洋子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級文法						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	基礎段階で未習の文法事項を学習し、中級の文法力を確立する。						
授業計画	<p>第一回 前期おさらい</p> <p>第二回 第十課 今、何をしているの？（動作・状態の進行継続、動詞の重ね型、使役、食材）</p> <p>第三回 第十一課 ゆであがった、熱いうちにどうぞ！（結果補語、積極性を表す“来”、前置詞“給”、味の評価の仕方、火加減と油の温度）</p> <p>第四回 第十二課 すみません、ロイヤルホテルにはどういったらいいですか？（方法・手段を尋ねる、時間の量を尋ねる、～しながら…する、新年のメニュー）</p> <p>第五回 中国語でロールプレイ</p> <p>第六回 第十三課 電話で宴会を予約する（“一”の読み方、電話のしかた、予約の取り消し方、仮定）</p> <p>第七回 第十四課 四川飯店にて（方向補語、複合方向補語、セットメニューの例）</p> <p>第八回 第十五課 お料理がきましたよ（動作の順番、マルチな動詞、何・どのように、行事と食習慣）</p> <p>第九回 小テスト、おさらい</p> <p>第十回 中国の歌、映画、ドラマの紹介</p> <p>第十一回 第十六課 麻婆豆腐（レシピの中国語）</p> <p>第十二回 第十七課 水餃子（レシピの中国語）</p> <p>第十三回 総まとめ、質疑応答</p> <p>第十四回 見直し、後期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目 (中国語)						
科目名	中国語IIC						
担当教員	安 力						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級会話						
授業の概要	中国語 I で培った基礎力を、さらに応用発展させるための中級中国語。遊びながら学ぶというコンセプトで飽きのこない中国語へのアプローチを目指す。イラスト多用で面白おかしく学習しつつも、結構手ごたえのある内容満載で中級中国語を身につけていただきたい。						
到達目標	中級の会話が身につくよう実践する。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 基礎の復習 準備課</p> <p>第三回 第一課 数字 (数え方、四則、曜日と日付け)</p> <p>第四回 第一課・第二課 会話、数字の日中差、</p> <p>第五回 第二課 時間 (一日のスケジュール)、会話</p> <p>第六回 自己紹介演習</p> <p>第七回 第三課 挨拶 (挨拶のしかた)、会話</p> <p>第八回 第三課・第四課 買い物</p> <p>第九回 第四課 お金の数え方、ものの言い方、会話</p> <p>第十回 第五課 動物・植物 (十二支)、会話</p> <p>第十一回 第五課・第六課 趣味・スポーツ</p> <p>第十二回 第六課 会話、知っていますか?</p> <p>第十三回 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・前期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習 (準備学習の内容)	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、授業中のパフォーマンス、試験50%などを総合して評価する。						
教科書	相原 茂/銭 鷗/竹内 理樺/郭 雲輝著 「ハピネス中国語」朝日出版社						
参考書	授業中に紹介します						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIC						
担当教員	安 力						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級会話						
授業の概要	中国語 I で培った基礎力を、さらに応用発展させるための中級中国語。遊びながら学ぶというコンセプトで飽きのこない中国語へのアプローチを目指す。イラスト多用で面白おかしく学習しつつも、結構手ごたえのある内容満載で中級中国語を身につけていただきたい。						
到達目標	中級の会話が身につくよう実践する。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 基礎の復習 準備課</p> <p>第三回 第一課 数字（数え方、四則、曜日と日付け）</p> <p>第四回 第一課・第二課 会話、数字の日中差、</p> <p>第五回 第二課 時間（一日のスケジュール）、会話</p> <p>第六回 自己紹介演習</p> <p>第七回 第三課 挨拶（挨拶のしかた）、会話</p> <p>第八回 第三課・第四課 買い物</p> <p>第九回 第四課 お金の数え方、ものの言い方、会話</p> <p>第十回 第五課 動物・植物（十二支）、会話</p> <p>第十一回 第五課・第六課 趣味・スポーツ</p> <p>第十二回 第六課 会話、知っていますか？</p> <p>第十三回 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・前期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、授業中のパフォーマンス、定期試験50%などを総合して評価する。						
教科書	相原 茂／銭 鷗／竹内 理樺／郭 雲輝著 「ハビネス中国語」朝日出版社						
参考書	授業中に紹介します						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIC						
担当教員	張 慧芬						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級会話						
授業の概要	中国語 I で培った基礎力を、さらに応用発展させるための中級中国語。遊びながら学ぶというコンセプトで飽きのこない中国語へのアプローチを目指す。イラスト多用で面白おかしく学習しつつも、結構手ごたえのある内容満載で中級中国語を身につけていただきたい。						
到達目標	中級の会話が身につくよう実践する。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 基礎の復習 準備課</p> <p>第三回 第一課 数字（数え方、四則、曜日と日付け）</p> <p>第四回 第一課・第二課 会話、数字の日中差、</p> <p>第五回 第二課 時間（一日のスケジュール）、会話</p> <p>第六回 自己紹介演習</p> <p>第七回 第三課 挨拶（挨拶のしかた）、会話</p> <p>第八回 第三課・第四課 買い物</p> <p>第九回 第四課 お金の数え方、ものの言い方、会話</p> <p>第十回 第五課 動物・植物（十二支）、会話</p> <p>第十一回 第五課・第六課 趣味・スポーツ</p> <p>第十二回 第六課 会話、知っていますか？</p> <p>第十三回 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・前期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、授業中のパフォーマンス、定期試験50%などを総合して評価する。						
教科書	相原 茂／銭 鷗／竹内 理樺／郭 雲輝著 「ハピネス中国語」朝日出版社						
参考書	授業中に紹介します						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IID						
担当教員	安 力						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級会話						
授業の概要	中国語 I で培った基礎力を、さらに応用発展させるための中級中国語。遊びながら学ぶというコンセプトで飽きのこない中国語へのアプローチを目指す。イラスト多用で面白おかしく学習しつつも、結構手ごたえのある内容満載で中級中国語を身につけていただきたい。						
到達目標	中級の会話が身につくよう実践する。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 前期の復習  第二回 第七課 動作・ジェスチャー（体の各部位、基本動作）、知っていますか？  第三回 第七課・第八課 道案内、会話  第四回 第八課 知っていますか？（道の尋ね方）  第五回 第九課 約束（招くとき、招かれるとき）、知っていますか？  第六回 第九課・小テスト  第七回 自己紹介演習  第八回 第十課 色彩（色の表し方、性格診断テスト）知っていますか？  第九回 第十課・第十一課 会話、知っていますか？  第十回 第十一課 健康（病気の言い方、健康診断テスト）、知っていますか？  第十一回 第十二課 人物・地名（歴史上の有名人）、知っていますか？  第十二回 第十二課・質疑応答  第十三回 会話練習  第十四回 総まとめ・期末テスト  第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	相原 茂／銭 鷗／竹内 理樺／郭 雲輝著 「ハビネス中国語」朝日出版社						
参考書	授業中に紹介します						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IID						
担当教員	安 力						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級会話						
授業の概要	中国語 I で培った基礎力を、さらに応用発展させるための中級中国語。遊びながら学ぶというコンセプトで飽きのこない中国語へのアプローチを目指す。イラスト多用で面白おかしく学習しつつも、結構手ごたえのある内容満載で中級中国語を身につけていただきたい。						
到達目標	中級の会話が身につくよう実践する。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 前期の復習  第二回 第七課 動作・ジェスチャー（体の各部位、基本動作）、知っていますか？  第三回 第七課・第八課 道案内、会話  第四回 第八課 知っていますか？（道の尋ね方）  第五回 第九課 約束（招くとき、招かれるとき）、知っていますか？  第六回 第九課・小テスト  第七回 自己紹介演習  第八回 第十課 色彩（色の表し方、性格診断テスト）知っていますか？  第九回 第十課・第十一課 会話、知っていますか？  第十回 第十一課 健康（病気の言い方、健康診断テスト）、知っていますか？  第十一回 第十二課 人物・地名（歴史上の有名人）、知っていますか？  第十二回 第十二課・質疑応答  第十三回 会話練習  第十四回 総まとめ・期末テスト  第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	相原 茂／銭 鷗／竹内 理樺／郭 雲輝著 「ハビネス中国語」朝日出版社						
参考書	授業中に紹介します						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IID						
担当教員	張 慧芬						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語中級会話						
授業の概要	中国語 I で培った基礎力を、さらに応用発展させるための中級中国語。遊びながら学ぶというコンセプトで飽きのこない中国語へのアプローチを目指す。イラスト多用で面白おかしく学習しつつも、結構手ごたえのある内容満載で中級中国語を身につけていただきたい。						
到達目標	中級の会話が身につくよう実践する。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 前期の復習</p> <p>第二回 第七課 動作・ジェスチャー（体の各部位、基本動作）、知っていますか？</p> <p>第三回 第七課・第八課 道案内、会話</p> <p>第四回 第八課 知っていますか？（道の尋ね方）</p> <p>第五回 第九課 約束（招くとき、招かれるとき）、知っていますか？</p> <p>第六回 第九課・小テスト</p> <p>第七回 自己紹介演習</p> <p>第八回 第十課 色彩（色の表し方、性格診断テスト）知っていますか？</p> <p>第九回 第十課・第十一課 会話、知っていますか？</p> <p>第十回 第十一課 健康（病気の言い方、健康診断テスト）、知っていますか？</p> <p>第十一回 第十二課 人物・地名（歴史上の有名人）、知っていますか？</p> <p>第十二回 第十二課・質疑応答</p> <p>第十三回 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・期末テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	本文中の練習問題を解き、本文の朗読、読解をしてから授業に臨むこと。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	相原 茂／銭 鷗／竹内 理樺／郭 雲輝著 「ハビネス中国語」朝日出版社						
参考書	授業中に紹介します						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIIA						
担当教員	張 慧芬						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語各種検定試験対策						
授業の概要	中国語の資格を目指そう！ 中国語検定の4級および3級取得を目指す。本校が神戸会場となっている中国語検定試験を始め、中国語ビジネス検定、日中コミュニケーション検定など各種検定を紹介するとともに、模擬テストを行う。中国語検定試験はこれからの就職活動に役立つ資格試験であり、対中ビジネスにかかわる企業にとっては中国語を理解する人材は貴重。試験に強い中国語学習の仕方を学び取ってもらう。						
到達目標	中国語検定試験受験対策をし、3級取得を目標とする。						
授業計画	第一回 中国語検定あれこれ イン트로 第二回 中国語検定過去問 第三回 見なおし、弱点分析 第四回 リスニング過去問 第五回 見なおし、強化練習 第六回 中国の文化紹介1（歌、映画、ドラマなど） 第七回 中国語検定対策 第八回 中国語検定練習問題 第九回 ビジネス中国語検定紹介 第十回 中国語通訳検定紹介 第十一回 過去問 第十二回 弱点強化 第十三回 中国の文化紹介2 第十四回 中検模擬試験 第十五回 テスト講評、見直し						
授業外における学習（準備学習の内容）	配布プリントを見直し、同じ間違いを二度しないように身につける。						
授業方法	講義、模試						
評価基準と評価方法	日常点30%、模擬テスト点50%、練習問題、授業中のパフォーマンス20%を総合評価						
教科書	授業中にプリントを配布する						
参考書	授業集に紹介する						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIIIB						
担当教員	張 慧芬						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3～4	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語各種検定試験対策						
授業の概要	中国語の資格を目指そう！ 中国語検定の4級および3級取得を目指す。本校が神戸会場となっている中国語検定試験を始め、中国語ビジネス検定、日中コミュニケーション検定など各種検定を紹介するとともに、模擬テストを行う。中国語検定試験はこれからの就職活動に役立つ資格試験であり、対中ビジネスにかかわる企業にとっては中国語を理解する人材は貴重。試験に強い中国語学習の仕方を学び取ってもらう。						
到達目標	中国語検定試験受験対策をし、3級取得を目標とする。						
授業計画	第一回 HSKの紹介 第二回 HSK過去問 第三回 HSK対策、弱点強化 第四回 中国語検定過去問 第五回 中国語検定練習問題 第六回 リスニング強化 第七回 中国の文化紹介3 第八回 模擬試験 第九回 テスト講評、見直し 第十回 弱点補強 第十一回 会話練習 第十二回 自己紹介パフォーマンス 第十三回 総まとめ、質疑応答 第十四回 模擬試験、練習問題 第十五回 テスト講評、質疑応答						
授業外における学習（準備学習の内容）	配布プリントを見直し、同じ間違いを二度しないように身につける。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 模擬試験、練習問題：50%						
教科書	授業中にプリントを配布する						
参考書	授業中に紹介。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIIC						
担当教員	古川 典代						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語上級会話						
授業の概要	上級中国語のマスターを目指す。中国語で自己紹介し、コミュニケーションできる能力を養う。就職活動や各種コンテストに有利なように、会話力を身につける。						
到達目標	自己紹介やビジネス中国語の会話力を身につける。						
授業計画	第一回 イントロ 第二回 自己紹介練習 第三回 自己紹介パフォーマンス 第四回 会話練習 第五回 リスニング練習 第六回 Q&A 第七回 小テスト 第八回 会話練習 第九回 リスニング練習 第十回 Q&A 第十一回 小テスト 第十二回 会話練習 第十三回 リスニング練習 第十四回 テーマ発表 第十五回 まとめ、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	教室外でも、中国人留学生や教員と積極的に中国語で会話する。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	評価方法：日常点30%、会話などのパフォーマンス20%、模擬テスト、定期テスト50%などの成績を総合的に評価する。						
教科書	授業中に紹介します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIID						
担当教員	古川 典代						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	3～4	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語上級会話						
授業の概要	中国語Ⅰ、中国語Ⅱの基礎および中級をさらに発展させた上級を目指す。コミュニケーション能力を磨いて、就活や各種コンテストに役立つ。終了後は中国語検定3級もしくは2級合格レベルの中国語力を身につけていることが望ましい。						
到達目標	自己紹介やビジネス中国語の会話力を身につける。						
授業計画	<p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 自己紹介</p> <p>第三回 Q&amp;A</p> <p>第四回 会話練習</p> <p>第五回 リスニング練習</p> <p>第六回 Q&amp;A</p> <p>第七回 小テスト</p> <p>第八回 会話練習</p> <p>第九回 リスニング練習</p> <p>第十回 Q&amp;A</p> <p>第十一回 小テスト</p> <p>第十二回 会話練習</p> <p>第十三回 リスニング練習</p> <p>第十四回 テーマ発表</p> <p>第十五回 まとめ、期末試験</p> <p>その他、他の授業でわからなかったことの復習など、リクエストに応じてフレキシブルに対応する。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	教室外でも、中国人留学生や教員と積極的に中国語で会話する。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	授業中に紹介する。						
参考書	授業中に紹介する。						